

## 福島市学校施設包括管理業務事業者選定プロポーザル

### 【審査講評】

福島市学校施設包括管理業務（以下「本業務」という。）は、福島市（以下「本市」という。）が保有する学校施設に係る保守管理等業務や修繕等業務を包括的に委託することで民間事業者のノウハウを活用し、学校施設の維持管理水準向上と安全性確保、施設管理業務の均質化を図るとともに、予防保全による効果的かつ効率的な維持管理につなげることを目的に、公募型プロポーザルを実施することとした。

企画提案を求める事項として以下の特定テーマ4つを設定した。

【テーマ1】 業務体制、業務スケジュール

【テーマ2】 業務実施方法と事業評価、業務の品質管理・効率化への取り組み

【テーマ3】 市内事業者の活用、地域経済への貢献、再委託業務発注の考え方

【テーマ4】 付加価値、独自のノウハウの活用

本プロポーザルには、募集公告に対して3者からの参加表明及び企画提案書の提出を受け、適格であることを確認したうえで、全3者に対してヒアリングを要請した。

企画提案はいずれも、本市が設定した特定テーマを踏まえ熟慮された提案であり、それぞれに評価する点と課題のある点が見られた。特に【テーマ2】における「巡回点検」について、建築物に対する見解に相違が見られた。

優先交渉権者

受付番号1

実績・経験に基づいた提案がなされ、業務体制・バックアップ体制が優れていた。

「学校施設」という子どもたちの安全・安心な学習環境について、安全確保が考慮された巡回点検内容が総合的に示されている点、業務計画に係る達成度・成果等を検証するモニタリングが確立されている点が評価できた。

独自性のあるシステムを導入し、施設情報集約活用方法をはじめとするDX対応の高さが感じられた。

総得点 412点／500点

次点交渉権者  
受付番号2

システムを活用した業務執行状況についての見える化及び業務に関する事業者間での情報共有システム構築等、情報の共有化に関する点は評価できた。

一方で、巡回点検において、設備に特化した面が示されるなど、建築に関する体制構築が不十分であり課題が見受けられた。また、ヒアリング時説明を求めていた指定事項に触れないことがあった。

総得点 342点/500点

今後、優先交渉権者におかれては、福島市との協議を重ねるとともに、これまでにない新しい業務となる「学校施設包括管理業務」への地元事業者の理解度を高める働きかけを積極的に行い、共通認識のもと緊密な連携を期待する。

最後に、応募された3者には、本プロポーザルの趣旨をご理解いただき、学校施設管理に関する深い知識と、本事業実現のために検討された提案をいただいたことに、審査委員一同厚く御礼を申し上げます。

令和7年9月4日

福島市学校施設包括管理業務事業者選定審査委員会